

現状と課題

家庭、学校、地域社会の関係が希薄化し、モラルや社会規範が低下したことにより、非行、いじめ、ひきこもり、不登校や少年犯罪の凶悪化・低年齢化など、子どもをめぐる様々な問題が深刻化してきています。

さっぽろの次代を担う子どもを守り、大人と同じ人間としてその利益を最大限に尊重されるよう配慮することが求められています。

子育て中の**家庭**、特に多くの女性が、育児に対する4つの負担感（経済的負担、精神的負担、時間的拘束の負担、肉体的負担）により、不安やストレスを感じるようになってきています。

子育てと仕事の両立を指向する家庭の多くが、今後も働き続けるために「子育てに対する職場理解と支援」や「保育施設」を求めています。

すべての子育て家庭が安心して子育てできる社会に向けて、子育て家庭を地域社会全体で支えあう市民意識の醸成と子育て支援システムが求められています。

少子化をはじめとする現代社会の様々な変化により、子どもたちが「ゆとり」のない環境に置かれるとともに、子どもが本来持つべき自主性や社会性が育まれにくくなっていることが指摘されています。

子どもが調和のとれた一人の人間として、将来に向け自己を確立するには、子どもが成長する場として欠かすことのできない家庭や学校、地域社会が連携するとともに、挫折を含めた体験を成長機会として捉え、子どもが自ら主体的に取り組むことが必要です。

子どもを健やかに生み育てるためには、保健・医療・福祉の連携による母性及び乳幼児等の健康の確保・増進を図ることが求められています。

特にこれから親となる若い世代が心身ともに健全に成長するための環境づくりと、**男女が共に育児を担うことへの意識啓発を図ることが求められています。**

子どもを安心して生み育てるための、子どもと子育て家庭に配慮した住環境の充実とともに、安全で快適に暮らせるまちづくりが求められています。

基本的視点

子どもの視点

次世代を育成する長期的な視点

社会全体で支援する視点

基本理念

「子どもの輝きがすべての市民を結ぶまち」

急速な少子化の進行並びに家庭及び地域を取りまく環境に変化等が生じ、あらためて地域の人と人とのふれあいを大切にすることが求められています。

明日を担う子どもたちが、こころ豊かで健やかに育つことは、将来の社会が発展するために欠かせないものであり、そのためにも子どもたちを社会全体で支えていくことが求められております。

札幌市では、地域の人びとの温かいまなざしと支えのなかで、子どもたちの成長していく輝きが、**世代を越えたすべての市民を結び、未来を照らすまち**を目指します。

基本目標

豊かな子ども時代を過ごすための社会づくり

- 子どもの権利を尊重する社会風土の醸成
- 子どもを育成する良好な社会環境づくり
- 子どもに関する相談・支援体制の充実

健やかに生み育てる環境づくり

- 生命を育む
- 子どもと母親への健康支援
- 小児医療の充実

子育て家庭を支援する地域づくり

- 情報の提供と相談支援体制の充実
- 子育てを支援する人材・団体の育成
- 地域での活動の場の提供
- 経済的支援
- 子育て家庭に配慮した労働環境の整備
- 多様なニーズに合わせた保育サービス等の充実
- 特別な援助を要する家庭への支援
 - ひとり親家庭への支援
 - 多様なニーズに合わせた障がい・発達への支援

次代を担う心身ともにたくましい人づくり

- 体験を広げる
- 挑戦する
- 思春期の心と体の健康
- 活動の支援環境を整備する
- 魅力ある学校教育の推進

子どもと子育て家庭にやさしいまちづくり

- 豊かな魅力ある住環境等の整備
- 公共施設等の身近で魅力的な空間の確保
- 子どもの安心・安全の確保

※ 「基本目標」「基本施策」の名称及び体系順については、変更する場合があります。